

テーマ：農業集落調査問題を考える

日 時：2022 年 12 月 11 日（日）13 時 30 分-15 時 30 分

会 場：愛媛大学農学部(〒 790-8566 松山市樽味 3-5-7)

現時点ではオンサイトでの開催を予定しています。ただし、新型コロナウイルスの感染状況によってはオンライン開催に変更する場合があります。

趣 旨：

2025 年農林業センサスにおいて、農山村地域調査（農業集落用）の調査（以下、農業集落調査）の廃止が農水省より提案された。この提案に対し、本学会はじめ多数の関連学会・団体が継続に対する要望や意見の表明がなされ、一般紙にも報道される問題となった。11 月には廃止から一転して代替案による継続が提案されるなど、議論が続いている。

農村計画学にとって、農業集落は実践・協働の場であり、中心的な研究対象である。それを把握することのできる農業集落調査の開始は昭和 30 年にさかのぼり、2020 年まで積み上げられてきた重要な統計である。今回の一連の議論では、統計調査と個人情報をめぐる調査方法のテクニカルな問題とともに、農業集落とは何か、農業以外の側面も含めた農業集落の機能を把握することが農村の総合的な振興と農業政策にどのようにつながるのか、といった本質的な問題も含めて改めて振り返る機会となっているのではないだろうか。

このような背景から、本学会では農業集落調査 WG を立ち上げ、農業集落調査を通じて把握される農業集落のとらえ方や調査の利用について、これまでの特徴と課題を整理し、今後の調査のあり方などを検討している。

本ミニシンポジウムでは、農業集落調査 WG の現時点での検討成果の共有とともに、会員の皆様とのディスカッションを行い、農業集落調査の今後について議論を深めたい。

問い合わせ先：農業集落調査 WG

shurakuwg [at] gmail.com

at を@に変えてご連絡ください。

以上